



日本教育メディア学会 第31回 年次大会

発表プログラム

日時 2024年10月5日(土)・6日(日)

会場 鹿児島女子短期大学

鹿児島県鹿児島市高麗町 6-9

大会日程

10月5日(土)

- 12:00— 受付
13:00—13:50 総会
14:10—14:50 大会企画 講演「2nd GIGA 時代に期待される教育メディア研究」
東京学芸大学教職大学院 堀田龍也先生
15:00—16:30 シンポジウム
「地域ぐるみで考える教育DX:ウェルビーイングの実現と教育メディア」
16:40—18:10 一般研究発表(1)
18:20—18:50 理事会
19:00—21:00 懇親会
TO THE HERBS (トゥ・ザ・ハーブズ) 鹿児島店
鹿児島市高麗町 17-5 099-285-2220

10月6日(日)

- 09:00—10:30 一般研究発表(2)
10:40—12:10 一般研究発表(3)
企画委員会企画「現職教員のための実践研究はじめての一步」同時開催
12:10—13:10 昼食
13:10—15:10 課題研究

年次大会事務局

日本教育メディア学会 第31回 年次大会実行委員会 事務局

jaemsconference@gmail.com

年次大会委員長	堀田博史(園田学園女子大学)
年次大会副委員長	小林祐紀(放送大学)
年次大会委員	石井芳生(関西大学初等部)
〃	亀井美穂子(相山女学園大学)
〃	福田晃(金沢大学附属小学校)
〃	前田康裕(熊本大学)
〃	山口好和(北海道教育大学)
大会実行委員長	渡邊光浩(南九州大学)
大会実行委員	中村礼香(鹿児島女子短期大学)

会場案内



- ・受付は本館 4 階廊下で必ずお済ませください。
当日の現金払いはありません。参加費未納の方は必ず [Peatix](#) よりお支払いください ↑
懇親会の参加チケットは【事前予約 9/2 まで】となっておりますが、まだ受け付けています。
- ・発表会場には HDMI で出力するプロジェクターがあります。PC は発表者でご準備ください。
- ・当日の Wi-Fi の準備はありません。必要な場合は各自でご準備ください。
発表集録(現在, 準備中)は事前にダウンロードしてご参加ください。

本館

開催日	5日 (土)			
会場 \ 時間	13:00 -14:50	15:00 -16:30	16:40 -18:10	18:20 -18:50
7階 記念ホール	総会・講演	シンポジウム		
4階 廊下	受付			
4階 401			一般研究(A1)	
4階 402			一般研究(B1)	
4階 403	大会委員控室			
4階 404	参加者休憩室			
4階 405			一般研究(E1)	新・理事会
3階 307			一般研究(C1)	
3階 308			一般研究(D1)	



東門からは
入れません。

本館について
女子トイレは
各階にあります
男子トイレは
1階・5階・7階のみ
です。

懇親会

19:00-21:00 TO THE HERBS (トゥ・ザ・ハーブズ) 鹿児島店 →



本館

開催日	6日（日）			
会場 \ 時間	9:00 -10:30	10:40 -12:10	12:10 -13:10	13:10 -15:10
4階 廊下	受付			
4階 401	一般研究(A2)	一般研究(A3)	課題研究準備	課題研究 1(AK)
4階 402	一般研究(B2)	一般研究(B3)	課題研究準備	課題研究 3(CK)
4階 403	大会委員控室			
4階 404	参加者休憩室			
4階 405	企画委員会 準備	企画委員会 セッション	課題研究準備	課題研究 2(BK)
3階 307	一般研究(C2)	一般研究(C3)	研究委員会(国内) 研究委員会(国際)	
3階 308	一般研究(D2)	一般研究(D3)	編集委員会(国内) 広報委員会	

課題研究 プログラム

2日目 2024年10月6日(日)13:10-15:10

【A会場】課題研究1 「情報活用能力」を育成するための授業設計とカリキュラム

コーディネーター: 前田康裕 (熊本大学), 山口好和 (北海道教育大学函館校), 小林祐紀 (茨城大学)

- A-K-1 情報活用能力における生成 AI 活用と教職課程学生の意識 —素朴な概念から学術用語へ—
後藤康志 (新潟大学)
- A-K-2 アプリケーションの活用を促すカリキュラム開発と研修の効果
前田康裕 (熊本大学)
- A-K-3 瀬戸 SOLAN 学園初等部における小学校「情報」の取り組み
林向達 (瀬戸 SOLAN 学園初等部), 反田任 (瀬戸 SOLAN 学園初等部)
- A-K-4 情報活用能力育成を重視する学校の教員における学習指導に関する意識の特徴
小林祐紀 (放送大学), 秋元大輔 (船橋市立宮本小学校), 稲垣忠 (東北学院大学), 佐藤幸江 (放送大学), 佐和伸明 (柏市立大津ヶ丘第一小学校), 渡辺浩美 (一般社団法人日本教育情報化振興会), 中川一史 (放送大学)
- A-K-5 「情報活用能力」育成を志向する実践の成果をどう語るのか
山口好和 (北海道教育大学函館校)

【B会場】課題研究2 探究を多様化するアートベース・リサーチ

コーディネーター: 岸磨貴子 (明治大学), 川島裕子 (関西大学)

- B-K-1 高校の探究学習におけるアートベース・リサーチの実践 —教師の視点から捉えた生徒の学び—
岸磨貴子 (明治大学), 羽佐間香子 (明治大学)
- B-K-2 ドキュメンタリー演劇の制作を通じた探究の実践 —大学における多文化共生教育の一環として—
川島裕子 (関西大学)
- B-K-3 ワークショップデザイナーとしての学生の成長 ナラティブ・インクワイアリーによる経験の再構築
田知殷 (明治大学大学院), 岸磨貴子 (明治大学)

B-K-4 「パフォーマンスな学び」の研究法としての ABR
久保田賢一（関西大学）

【C 会場】課題研究3 生成 AI の活用とメディア・リテラシー

コーディネーター：大久保紀一郎（京都教育大学），佐藤和紀（信州大学）

C-K-1 教員養成課程の学生の生成 AI の知識と有用性認識に関する調査結果の分析
大久保紀一郎（京都教育大学），佐藤和紀（信州大学），堀田龍也（東京学芸大学）

C-K-2 ニュースの信頼度を評価するボードゲーム教材の開発
竹内俊彦（駿河台大学），館秀典（駿河台大学）

C-K-3 生成 AI テキストの特性を見極めるメディア・リテラシーの可能性：ワークショップ型授業
実践の試み
宇田川敦史（武蔵大学）

C-K-4 生成 AI が生成した混成型テキストの小学生と大学生の読解に関する調査
佐藤和紀（信州大学），堀田龍也（東京学芸大学）

一般研究 プログラム(1)

1日目 2024年10月5日(土) 16:40-18:10

(発表 20分、質疑 8分、入替わり 2分)

【A会場】座長 佐藤和紀(信州大学)

- A-1-1 日本の英語教育におけるICT活用に関するレビュー分析
津田奈々(信州大学), 堀内蓮太郎(信州大学), 山本大貴(信州大学), 佐藤和紀(信州大学)
- A-1-2 To Doリストを活用した自己調整学習方略において児童が記述したタスクの分析
大庭佑紀子(関西大学大学院)
- A-1-3 日本の小学生によるデジタル音楽教科書の利用に関する研究
王書(関西大学), 黒上晴夫(関西大学)

【B会場】座長 岩崎千晶(関西大学)

- B-1-1 高等教育においてコロナ後にオンデマンド授業を選択した教員の授業設計に関する事例研究
岩崎千晶(関西大学)
- B-1-2 日中両国における大学生の情報モラル意識に関する比較研究
侯博瀚(関西大学), 小柳和喜雄(関西大学)
- B-1-3 学び方学習の機会を学び合い中心にオンラインで提供する試み
—熊本大学大学院教授システム学専攻「基盤的学習論」を例に—
鈴木克明(武蔵野大学/熊本大学), 平岡齊士(放送大学), 竹岡篤永(事業創造大学院大学)

【C会場】座長 山本朋弘(中村学園大学)

- C-1-1 小学校体育での記録動画を用いた学習履歴への教師の見取りと支援の個別化に関する分析
角田莉穂(中村学園大学), 山本朋弘(中村学園大学)

- C-1-2 教師がクラウド上で学習者の学習状況を把握するための「学習状況シート」の項目に関する調査
久川慶貴（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），草本明子（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科），高橋純（東京学芸大学）
- C-1-3 1人1台端末環境における高次な資質・能力の育成を意図した複線型授業における教師の発話
三浦裕太（東京学芸大学教職大学院），島崎亜希子（富山市立芝園小学校），高橋純（東京学芸大学）

【D 会場】 座長 平山靖（帝京科学大学）

- D-1-1 小学生プログラミング体験イベントの教育的役割の検討
～探索的課題を用いた実践を通して～
中池竜一（愛知教育大学）
- D-1-2 巡回コンサルテーションを通じた保育の専門性獲得過程の要素
平山靖（帝京科学大学）

【E 会場】 座長 加藤由香里（東京科学大学）

- E-1-1 理系分野でのティーチング・フェローを育成する大学教員準備講座の試み
加藤由香里，山下幸彦，畠山久，浅山拓哉，門松怜史，室田真男（東京科学大学）
- E-1-2 企業研修における動画教材を活用した合成音声の評価
圓林真吾（株式会社メディアオーパスプラス），大捕瑞生（株式会社メディアオーパスプラス），村川弘城（日本福祉大学），北村史（長崎大学），瀬戸崎典夫（長崎大学）

一般研究 プログラム(2)

2日目 2024年10月6日(日) 9:00-10:30

(発表 20分、質疑 8分、入替わり 2分)

【A会場】座長 泰山裕 (中京大学)

- A-2-1 小学校での個人探究における探究課題の多様性と学年ごと特徴の検討
泰山裕 (中京大学), 小島亜華里 (奈良教育大学), 三宅貴久子 (瀬戸 SOLAN 学園初等部), 荒谷達彦 (瀬戸 SOLAN 学園初等部)
- A-2-2 多面的な国際探究学習モデルの構築
君塚磨 (日本福祉大学付属高等学校/日本福祉大学大学院), 影戸誠 (日本福祉大学), 佐藤慎一 (日本福祉大学)
- A-2-3 SDGs を題材とした探究学習の長期的効果に関する追跡調査
広瀬一弥 (亀岡市みらい教育リサーチセンター)

【B会場】座長 江島徹郎 (愛知教育大学)

- B-2-1 小中学生が学習目的でインターネットを利用する際の親の介入
水野一成 (NTT ドコモ モバイル社会研究所), 近藤勢津子 (NTT ドコモ モバイル社会研究所), 吉良文夫 (NTTドコモ モバイル社会研究所)
- B-2-2 子どもたちのVTuber とゲームによる情報の発信・伝達の実践
山坂菜々 (愛知学泉大学), 江島徹郎 (愛知教育大学), 宮下十有 (椋山女学園大学)
- B-2-3 ICT の活用をメタ的に学ぶ授業の開発と実践
江島徹郎 (愛知教育大学), 山坂菜々 (愛知学泉大学), 野崎浩成 (愛知教育大学)

【C会場】座長 三井一希 (山梨大学)

- C-2-1 学習指導要領コードに対応した「NHK for School API」の開発とデジタル教材連携の取り組み
奥野沙織 (株式会社 NHK テクノロジーズ), 小林建司 (株式会社 NHK テクノロジーズ), 貫井真史 (日本放送協会), 矢野あかね (日本放送協会), 若山大輔 (日本放送協会), 宇治橋祐之 (NHK 放送文化研究所), 堀田龍也 (東京学芸大学)

- C-2-2 学習の振り返りに対する自動化された即時フィードバック環境の設計
三井一希（山梨大学），板垣翔大（宮城教育大学），泰山裕（中京大学），大久保紀
一朗（京都教育大学），佐藤和紀（信州大学），堀田龍也（東京学芸大学）
- C-2-3 生成AIによる児童の絵に表す活動の評価に関する研究
小崎誠二（奈良教育大学），北川剛司（奈良教育大学），藤川由佳（奈良県教育委
員会事務局）

【D 会場】 座長 高林友美（サイバー大学）

- D-2-1 NHK 教育テレビ「幼保の時間」の音楽番組に関する考察
—1988 年から 2007 年までの内容と変遷—
葉口英子（ノートルダム清心女子大学）
- D-2-2 E テレなどの子ども向け番組が乳幼児の映像理解に果たす役割
村野井均（茨城大学名誉教授）
- D-2-3 領域「人間関係」における ICT 活用の可能性—倉橋の幼児教育方法論の現代的解釈と
多様なメディア—
神田ゆい（国際基督教大学大学院），高林友美（サイバー大学）

一般研究 プログラム(3)

2日目 2024年10月6日(日) 10:40-12:10

(発表 20分、質疑 8分、入替わり 2分)

【A会場】座長 菅原弘一 (宮城教育大学)

- A-3-1 生成 AI パイロット校における生成 AI 利活用に関する情報教育3観点8要素に基づいた事前指導の分類
小島愛莉 (信州大学教育学部), 堀内蓮太郎 (信州大学大学院教育学研究科), 佐藤和紀 (信州大学学術研究院教育学系)
- A-3-2 小学校低学年生活科における情報活用能力の育成を意識した単元指導計画の検討
久保穂ノ花, 菅原弘一, 岡本恭介 (宮城教育大学)
- A-3-3 国際調査 ICILS のアセスメントフレームワークの変遷
小柳和喜雄 (関西大学)

【B会場】座長 中橋雄 (日本大学)

- B-3-1 メディア・リテラシーを育む「かるた」教材に関する研究
中橋雄 (日本大学)
- B-3-2 大学の授業でのマルチカメラによる動画制作の実践
村井明日香 (昭和女子大学), 齋藤玲 (東北大学), 堀田龍也 (東京学芸大学)

【C会場】座長 佐竹靖 (近畿大学)

- C-3-1 日中 AI 技術の教育利用に関する現職研修の動向比較研究
呂佳瑞 (関西大学), 小柳和喜雄 (関西大学)
- C-3-2 CBCL における教師同士の対話データから抽出した授業観察の視点と教職経験年数による比較
伊藤真紀 (信州大学大学院教育学研究科), 佐藤和紀 (信州大学学術研究院教育学系)
- C-3-3 教員研修で有効な理科の観察を支援する ICT 活用のあり方
佐竹靖 (近畿大学)

【D 会場】 座長 中尾教子（神奈川工科大学）

- D-3-1 教職課程を履修する美術学部の学生を対象としたクラウドでの共同編集機能を用いた学習指導案作成演習の試み
中尾教子（神奈川工科大学）
- D-3-2 授業づくりでの利用を想定した生成型 AI プロンプト集の開発
樽見真衣（中村学園大学教育学部）、山本朋弘（中村学園大学教育学部）
- D-3-3 小学校教師の校務におけるクラウド上のチャットスペースの作成数と働き方の意識の変化の関係の調査
平石雄大（信州大学教育学部）、伊藤真紀（信州大学大学院教育学研究科）、佐藤和紀（信州大学学術研究院教育学系）